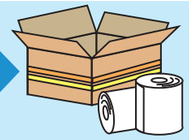
ごみは生まれかわる！

紙類

紙をつくる工場



紙はとかしてもう一度新聞紙や段ボール、トイレットペーパーなどになります。

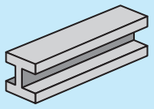
空きびん類

びんをつくる工場

びんには、きれいにあらって、もう一度使われるものと、とかしてびんの原料になるものがあります。

空きかん類

鉄、アルミニウム製品をつくる工場



金属はとかして、鉄製品やアルミニウム製品に作り直します。

布類

車をつくる工場

布は細かく切って車のシートの中身になります。

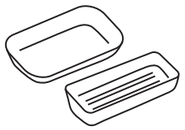
洋服のまま輸出されることもあります。

ペットボトル

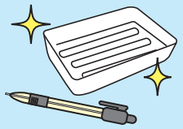
ペットボトルをつくる工場

ペットボトルは、細かくくだいて、とかした後に新しいペットボトルに作り直します。

食品トレイ（白色）



プラスチック製品をつくる工場



白色の食品トレイは、細かくくだいて、とかした後に、食品トレイやボールペンなどになります。

生ごみ

コンポスト

生ごみをコンポストに入れると生ごみが微生物により分解され肥料となります。

小型家電

金属を取り出すしせつ

金、銀、銅、鉄などを取り出します。取り出した金属は、自動車や家電製品の部品などになります。

ねらい解説

★せっかく集めた資源物も種類ごとに分けていないとリサイクルできません。リサイクルの基本である「分別」の大切さにも気付かせてください。
●リサイクルできない紙類、布類、食品トレイを燃えるごみとして出した場合は、焼却施設で焼却する際の熱を有効利用した発電（ごみ発電）に使われます。

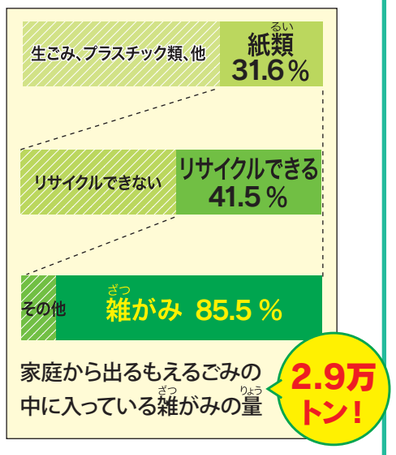
3 紙ごみをへらそう！

雑がみ▶

新聞、段ボール以外のリサイクルできる紙のことを「雑がみ」といいます。
ごみとして捨てられている雑がみをリサイクルすることで、
紙ごみをへらすことができます。

左のごみ袋に入っていた雑がみ

令和４年度
もえるごみの量 約26万トン

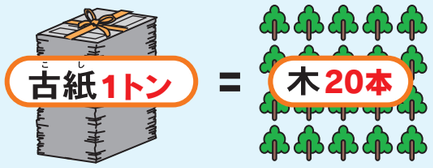


古紙は3分別でリサイクル！

- 新聞（折り込みチラシも）
- 段ボール
- 雑がみ

パンフレット
おかしの箱
ティッシュの箱
はがき・ふうとう
トイレットペーパーのしん
紙袋

古紙を1トンリサイクルすると、紙を作るために使う木20本分を切る必要がなくなるといわれています。



地域の集団回収を利用しよう！

令和4年度は、地域の集団回収やリサイクルボックス、区役所での回収などにより、約2万3千トンの古紙が回収されました。
古紙2万3千トンは、紙を作るための木、約46万本分にあたります。

紙ごみをへらすポイント

1. ノートは最後のページまで使う
2. プリントなどの裏紙もメモ帳がわりに使う
3. ふせんなどの小さな紙もリサイクルする

紙ごみをへらしたり
古紙をリサイクルしたりすることが、
自然を守ることにつながるんだね！

ねらい解説

★家庭から出るごみの中にはたくさんの紙ごみがあることに気付かせてください。
●古紙1トンは直径14ｃｍ×長さ8メートルの丸太20本分に相当すると言われています。